

◎第8回理事会 (37.1.23) 出席者：永田会長、ほか副会長および理事 10 名。議事：1) 第7回理事会議事録の承認。2) 臨時常議員会において土木学会規則一部改正 (正員 および学生会員の会費値上げ) の件決議報告。3) 37 年度通常総会および第 17 回年次学術講演会について・開催時期、場所、スケジュール、見学会、総合講演につき種々検討し総合講演者をそれにもとずき交渉することにした。4) 特別昇格および新規勧誘について・特別員地区別調査、建設大臣登録者入会依頼社名簿にもとずき、その昇格、勧誘方法につき検討した。5) 支部交付金について・支部交付金の支給率につき検討を行なった。6) その他・a) ACI 支部設立について、b) 国立大学土木工学科の拡充について、c) 国際会議の報告方について。7) 36年12月中の会員入退会、会計報告その他を承認。

◎臨時常議員会 (37.1.16) 出席者：永田会長、ほか常議員 8 名、委任状 29 通、理事 3 名、中部、中四の支部長。議事：1) 土木学会規則一部改正の件・土木学会規則第 11 条中正員および学生会員の会費を下記ののとおり改正に決定。

- ① 正員 年額 1200 円を 1800 円とする
- ② 学生会員 年額 600 円を 900 円とする

2) 報告事項・① 会員 1 人当り年間直接費について、② 昭和 37 年度予算について。

◎各種委員会

(1) 第2回水理委員会幹事会 (36.12.19) 出席者：伊藤委員長、ほか委員 17 名。議事：1) 水理委員会副委員長の互選開票の結果、横田周平委員が当選決定。2) 水理委員東北地区委員柴原孝太郎氏転出のため東北支部より井田至春氏の推薦があったので承認の上理事会にはかること。3) 水理学および水力機械に関する第 1 回アジア会議 (インド 1962 年末または 1963 年初め) につい。4) 37 年度文部省科学研究費等分科審議会委員候補者について、日本地球物理学連合に米元卓介氏を推薦する。5) 第 9 回 IAHR 大会報告懇話会開催について。6) 水理研究会会員に対する措置について。7) 36 年度水理学研究の現況、発刊について。8) 水理公式集の改訂について。

(2) 第8回構造物耐震設計研究委員会幹事会 (36.12.20) 出席者：沼田委員長、久保幹事長、ほか委員 2 名、幹事 17 名。桜井 (電研)、杉田 (国鉄) の両氏。議事：1) 今まで取りまとめた各章につき経過報告。2) 水中橋脚につき資料説明、桜井氏のお話を聞く。3) その他提出資料につきそれぞれ担当幹事が説明。4) 次回は残りの各章につき審議する。

(3) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会 構造細目部会 (36.12.21) 出席者：関係者 3 名。議事：1) 担当条項につき取りまとめを行なった。2) 委員の追加および交代について。

(4) 第1回コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会 (36.12.25) 出席者：国分委員長、川口主査、ほか委員 13 名、幹事 3 名。議事：1) 荷重部会、設計計算部会、版部会、構造細目部会、はりおよびラーメン部会、柱およびフラット スラブ部会、フーチングその他部会、工場製品分科会、せん断力分科会、新材料分科会よりそれぞれの分科会および部会の審議進捗状況について報告。2) 工場製品分科会に大山 (国鉄) 氏を追加。

(5) フライアッシュ小委員会 (36.12.22) 出席者：国分委員長、ほか委員 17 名。議事：1) 第 14 回小委員会議事録の承認。2) 長期試験材料の確認。3) 同試験計画の細項につき、打合せ。4) 結果を幹事がとりまとめる。

(6) 第7回会誌編集委員会 (36.12.22) 出席者：堺副委員長、ほか委員 17 名。議事：1) 審査中原稿の審査報告および新規受付原稿の審査委員の決定。2) 論文集より回送論文の取扱いについて。3) 依頼原稿について。4) 次回よりの講座について。4) 47 巻 2 号登録原稿について。6) 第 7 回編集小委員会で決定した表紙、1 月号より設ける 話のひろば、ロータリー、その他を報告。7) 次回委員会について。

(7) 第8回会誌編集小委員会 (37.1.8) 出席者：堺副委員長、ほか委員 3 名。議事：1) 47 巻 1 号 (新年号) の内容を多少修正、口絵写真、ニュース、ロータリー、話のひろば について協議。2) 47 巻 2 号の内容を手持原稿を参考としながら修正。3) 各県工事案内は全部集めるよう事務局で手配する、登載順は一応北からということ了承。4) 次回よりの講座、新規依頼原稿案につき編集委員からアンケートをとることを決定。

(8) 第2回施工分科会 (37.1.9) 出席者：国分委員長、菅原主査、ほか委員 7 名、幹事 2 名。議事：1) 第 1 回議事録の承認。2) PC 用コンクリート実験研究実施要領について。3) 調査表の作成について。4) 次回は 2 月 20 日とする。

(9) 第2回 PC 幹事会 (37.1.9) 出席者：幹事 5 名。議事：各分科会の幹事が集まり調査表の調整を行なった。

(10) 第8回文献調査委員会 (37.1.10) 出席者：久野委員長、ほか委員 8 名、幹事 1 名、モニター 3 名。議事：1) 47 巻 2 号登載、抄録、目録について。2) 次回提出抄録の確認。3) 文献調査委員会の活動につきモニターをまじえて話合った。

(11) 第4回論文集各部委員会 (37.1.11) 出席者：第 1 部会・久保部会長、ほか委員 6 名、第 2 部会・林部会長、ほか委員 8 名、第 3 部会・山川部会長、ほか委員 4 名、第 4 部会・丸安部会長、ほか委員 4 名、その他・奥村理事、西脇幹事。議事：1) 前回部会長報告。2) 各部会ごとに審査中原稿の審査報告および新規受付原稿審査委員の決定。3) 委員の交代について。4) 土木賞候補論文の推薦について。5) その他。

(12) フライアッシュ幹事会 (37.1.16) 出席者：幹事 2 名。議事：前回委員会のとりまとめを行なった。

(13) 第53回耐震工学委員会 (37.1.17) 出席者：委員 10 名。議事：1) 土木賞、吉田賞について・前回委員会で土木賞委員会からの当委員会委員長宛の推薦依頼につき打合せた結果と同じく吉田賞についても打合せた。2) トレーニングセンターについて・現況および計画につき報告。3) 国鉄構造物耐震設計研究委員会について・久保委員より幹事会の進捗状況について報告があった。4) 次回は 2 月 22 日を予定する。

(14) 第4回論文集部会長会 (37.1.19) 出席者：丸安、林正副委員長、山川、久保両部会長、ほか委員 4 名、奥村理事、西脇幹事。議事：1) 各部会報告。2) 論文集月刊切りかえについて協議した結果、郵送料、その他会員へのサービスなど有利な点が多いので 37 年 4 月から月刊とすることにした。実質的には 37 年 3 月発行の第 79 号より月刊となる。3) 論文集第 79 号 (3 月発行) および第 80 号 (4 月発行) 登載論文について。4) 委員の交代について。5) 土木賞候補論文の推薦について。

(15) 第2回土木工学ハンドブック編集委員会幹事会 (37.1.19) 出席者：奥村、長浜両主査幹事、ほか幹事 29 名、出版社、学会職員 3 名。議事：1) 各編の項目について執筆構想とともに幹事の報告をうけた。2) 総体のページ数について短縮できないか協議。3) 関連部門を考慮して全体を 6 部門くらいに分け、各編の幹事が集まって重複しないように協議し、その結果もう一度項目と希望ページ数を出して頂くことになった。

(16) 第3回 PC 鉄道橋設計施工基準幹事会 (37.1.19) 出席

者：国分委員長，ほか幹事 11 名。議事：1) 第 1 原案を配布しそれぞれ起案者より説明。2) 今後の運営方針として次回幹事会までに意見の提出を願い，3 月 9 日に最終委員会を行なう。

(17) 吉田賞幹事会 (37.1.20) 出席者：国分委員，ほか幹事 3 名。議事：吉田賞，および吉田研究奨励金の締切にともない，22 日の本委員会提出の資料の準備作業を行なった。

(18) 第 1 回コンクリート委員会 (37.1.22) 出席者：国分委員長，ほか委員 27 名，幹事 6 名。議事：1) 鉄筋コンクリート標準示方書の改訂委員会進捗状況報告あわせて，無鉄，道路，ダムについても話合った。2) PS コンクリート小委員会進捗状況の報告。3) コンクリート委員会発足およびその構成について。4) 吉田賞および吉田研究奨励金について。

(19) 吉田賞委員会 (37.1.22) 出席者：沼田副委員長，ほか委員 18 名，幹事 3 名。議事：1) PR その他につき国分委員経過報告。2) 吉田賞規則について。3) 吉田賞候補，吉田研究奨励金候補の追加について。4) 選考のための分科会設立について。5) 分科会で選考したものを文書にて 3 月中頃通知する。6) 委員長，副委員長の交代について。7) 吉田賞，吉田研究奨

励金の額について。8) その他。

支 部 だ よ り

◎ 関西支部

(1) 海外事情講演会 (37.1.18. 中央電気倶楽部)

①サウジ アラビヤにおける道路建設と国情
復興建設技術協会理事 加藤喜一郎

②ソ連みたま

大阪市交通局高速鉄道建設部工事課長 岩村 潔
参加者 53 名 参加費 無料

(2) 会員懇親会 (37.1.18. 中央電気倶楽部)

参加者 58 名 参加費 300 円

(3) 技術講座 3 号 (37.1.22~23 の 2 日間 三和銀行谷町支店)

講座名 粘土の力学 講師 京都大学教授 村山 朝郎
講師 京都大学助教授 柴田 徹
参加者 139 名 参加費 100 円

編 集
後 記

屠蘇気分もつかの間，新年はじめての委員会が開かれ，2 月号の慎重審議が行なわれる。

親しみやすい学会誌に，というのが最近の合言葉のようである。政治も，いわく低姿勢，いわく月給倍増と，ムードで動いているようだから，学会誌も同じ趣向でと，ムードで押しとおせるものなら苦勞はない。技術とムードとは，全面的には相容れないようだ。

親しみやすい学会誌！ 頭の痛いところである。

土木は分野が広い。貴重な論文でも，ごく少数の人が貴重に思うだけのものなら，論文集にまわすより仕方がない。むずかしい論文を親しみやすく表現すればよいのだろうが，もともと固苦しいものを扱っていたら，親しみやすくするにも限度がある。また，あまり平易にすると主旨が表現できないこともある。

親しみやすいものを新たにとりあげよう。委員会はこの方向に動いた。

新しい表紙，話のひろば，ロータリー，全国工事めぐり等々。涙ぐましいものである。

審判は，全国の会員皆様である。しかし，学会誌そのものの内容を充実してゆくのも，各分野に御活躍の会員皆様の助力が第一である。ある専門分野の論文を書かれる場合，ほかの分野の人にも概貌がわかるように説明をつけたり，理論だけで終らせずに実例をつけたり……，ページ数に制限がありながらお願いするのは無理とは思ふものの皆様の手に頼る次第である。

……………
どうやら，2 月号の編集も終わったようである。【加藤・記】

会 員 入 退 会 に つ い て (昭 和 37 年 1 月 1 日 ~ 31 日 まで)

1. 入 会	42 名	(正 31 学 8 特級 1 特 1.D 1 特 2 級 1)
2. 復 活	2 名	(正)
3. 退 会	14 名	(正)
4. 死 亡	2 名	(名誉 1 正 1)
5. 転 格	3 名	特 1.D → 特級 1 特 1.D → 特 1.C 1 特 1.D → 特 2. 1

会 員 現 在 数 (昭 和 37 年 1 月 31 日 現在)

名誉	正員	学生員	賛助員	特級	特 1.A	特 1.B	特 1.C	特 1.D	特 2	計	(増)
38	13 316	1 332	30	14	14	27	134	221	18	15 144	(28)

名誉員	平 山 復 二 郎 君	パシフィックコンサルタンツ KK 社長	昭和 37 年 1 月 19 日	死去	74 才
正 員	野 口 章 祥 君	日本管工 KK 工務部長	昭和 35 年	"	67 才

昭和 37 年 2 月 10 日印刷

昭和 37 年 2 月 15 日発行

土木学会誌 第 47 巻 第 2 号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池 5 番地

発行者 末森猛雄


発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定 価 200 円 (送料 15 円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番



若戸大橋の主塔橋脚
を製作架設した
日立造船

本社 大阪市北区中之島2丁目25
支社 東京都千代田区丸の内2丁目20



日立造船